



エコキュート用連絡配管
風呂追焚配管用部材

e-PIPE
(e-パイプ)

e-TAKENOKO
(e-タケノコ)

e-PLANET
(e-プラネット)



「安」く、「安」心な
e-パイプ用タケノコ継手
専用ハンディー工具が

遂にデビュー!!

～更に簡単施工になりました～

施工方法は**こちら**



※一部携帯機種では動画を見ることができない可能性があります。
※動画を視聴するにはパケット料が発生しますので、
パケット定額サービスのご利用をお勧めします。

NEW





エコキュート用連絡配管、風呂追焚配管用部材
 耐候性断熱材付
 アルミ複合厚肉架橋ポリエチレン管 **PE-Xc**

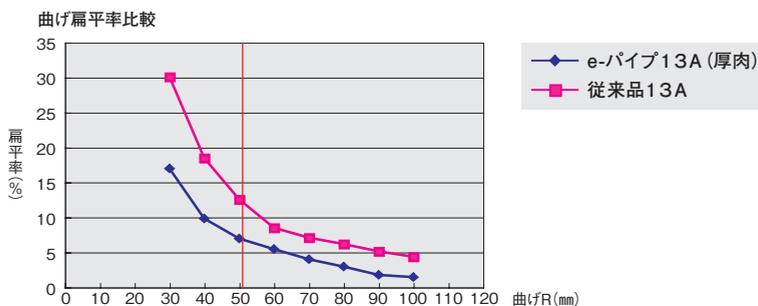
PIPE
 (e-パイプ)

POINT 1 —ベンダー不要—

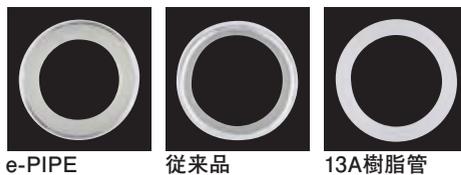
狭い設置場所での施工時にベンダーを使用することなく
 最小曲げ半径R51で施工することが可能です。



POINT 2 偏平率に見る曲げ特性比較 → 最小曲げR51



POINT 2 —内管肉厚が従来品の2倍！—



管の内径は銅管(φ12.7)と同径で、
 肉厚は従来からある13A架橋ポリエチレン管(JIS K 6769)PN15 XM種
 と同等以上の肉厚を確保しており耐
 久性に有利な構造となっております。

- 高温、高圧領域で使用可。衛生的で優れた耐食性を持っています。
- 配管が軽量なので取り扱いが楽に出来ます。
- 耐候性グレードの保温材なので、遮光テープを巻く手間がありません。

※e-パイプには、専用継手(e-タケノコ、e-プラネット)をご使用ください。

性能・試験データ

項目		e-PIPE (13A厚肉)	
管の構造	厚さ (概算値)	肉厚	t2.7(外径17.0mm・内径11.6mm)
		(内面樹脂)	(t2.2)
	材質	(アルミ+外層)	(t0.5)
		内層	電子線架橋ポリエチレン (PE-Xc)
	アルミ	アルミニウム	
	外層	高密度ポリエチレン	
使用条件	流体	水又は温水	
	最高使用温度	95℃	
	最高使用圧力	0.6MPa (95℃使用時)	
	最小曲げ半径	R51	
保温材	材質	内層	耐熱ポリエチレンフォーム (120℃)
		外層	エンボスフィルム
	厚さ	t10	
継手の構造	材質	本体	鉛レス青銅 (RoHS対応品)
		止水パッキン	フッ素ゴム



項目		e-PIPE (13A厚肉)	e-タケノコ	e-プラネット
性能 (管と継手)	引張降伏強さ	23℃	DIN EN ISO 6259-1準拠	24~30Mpa
		80℃		
	気密性	常温、0.6MPa×5秒以上		○
	水密性	常温、0.02MPa×2分		○
	負圧性	常温、-54kPa×2分		○
	耐圧性	常温、2.5MPa×2分		○
	破壊圧力	95℃、3.0MPa以上		○
	熱間内圧クリープ試験	95℃、1.5MPa×1000hr		○
	耐熱試験	水中、120℃×1000hr		○
	冷熱繰り返し	90⇔20℃ 0.2MPa×10,000回		○
	脈動(加圧繰り返し)	常温、0.35⇔2MPa×1,000万回		○
	耐塩素水性	JIS K 6769準拠		○
	浸出試験	JIS S 3200-7準拠		○
保温材	耐候性	SWM×3000h (紫外線照射量換算：10年以上)		○



e-PIPE用
タケノコ継手追加で
充実ラインアップ!!

e-パイプ用タケノコ式継手

(RoHS対応、フッ素ダブルOリング、耐熱パッキン付)

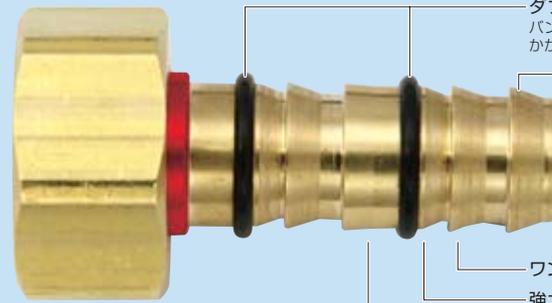


「安」く、「安」心な継手
「面取り不要」で手間いらず



お客様アンケートの結果、一番要望の多かった「安さ」と「安心」を両立させた画期的な継手が完成しました。当社独自の厚肉架橋ポリエチレン管の特徴を活かしたタケノコ式継手は、コスト面での大きな優位性もさることながら2重Oリング構造&4つのタケノコ山での止水と抜け止め機能をもった安全性の高い製品に仕上がっています。

構造



面取り不要
ダブルOリング(フッ素ゴム)で安心バンドがどの位置にきてもOリングにかかる構造(使用取付範囲内)
耐脱亜鉛材(タケノコ部)
4つのタケノコ山でガッチリ抜け止め

架橋ポリエチレンの形状記憶性能を活用した画期的な継手

ワンプッシュ挿入工具で施工も簡単
強力2重バンドで締め付ける
優れた耐圧性能

TAKENOKO 挑戦し続けた結果の証です

- 面取り不要!
- 挿入工具も、用途によって使い分け可能!
- ワンプッシュで挿入可能な据置タイプと狭い場所で施工しやすいハンディータイプで楽々、簡単施工!!
- 強力2重バンドと4つのタケノコ山でガッチリ抜け止め!
- 優れた耐圧性能を保持しています。
- バンドがどの位置にきてもダブルOリング(フッ素ゴム)にかかる構造です。(指定取付範囲内)

e-パイプ用転造式継手

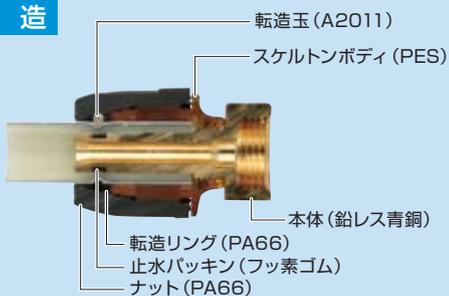
(RoHS対応、フッ素止水パッキン、耐熱パッキン付)



コンパクトになりました!

- 施工方法は手締めになるので工具は必要ありません。
- 複合管特有のアルミを变形させることによる止水方式を採用しました。
- 袋ナット戻り止め機能により、一度締めると緩むことはありません。
- 透明ボディなので挿入状態や締め込み状態が目視で確認できます。

構造



転造玉(A2011)

スケルトンボディ(PES)

本体(鉛レス青銅)

転造リング(PA66)

止水パッキン(フッ素ゴム)

ナット(PA66)

e-タケノコ

<呼び径=13A(厚肉)>

パイプ

e-パイプ13A保温材付
(耐候性保温材10mm(印字あり))

品番	長さ
EA325SH	25m

継手

e-パイプタケノコ部品セット(S)

品番	入数	備考
ET13P	10組	※1

e-パイプ両側タケノコ(S)セット

品番	入数	備考
KH33P	10組	※2

e-パイプエルボセット

品番	品名	L
ET13PL-S	e-パイプタケノコエルボセット(S)	150mm
ET13PL-M	e-パイプタケノコエルボセット(M)	180mm
ET13PL-L	e-パイプタケノコエルボセット(L)	215mm

※写真はET13PL-Sです
※配管接続には、継手を取付けてご使用ください
<取付イメージ>

定尺キット品

e-パイプタケノコ式配管キット

品番	品名	長さ	備考
ET302-SET	e-パイプタケノコ式配管キット 2m	2m	※1
ET303-SET	e-パイプタケノコ式配管キット 3m	3m	※1
ET305-SET	e-パイプタケノコ式配管キット 5m	5m	※1

配管キットセット内容
●耐候性保温材10mm (2m or 3m or 5m×2本)
●e-タケノコ部品セット(S)×1組(4個)

e-パイプタケノコ式配管キット

品番	品名	長さ	備考
ET325-SET	e-パイプタケノコ式配管キット 25m	25m	※1

配管キットセット内容
●耐候性保温材10mm (25m×1巻)
●e-タケノコ部品セット(S)×2組(8個)

e-パイプタケノコ式定尺キット

品番	品名	長さ
ET302-P	e-パイプタケノコ式定尺キット 2m	2m
ET303-P	e-パイプタケノコ式定尺キット 3m	3m
ET305-P	e-パイプタケノコ式定尺キット 5m	5m

定尺キットセット内容
●耐候性保温材10mm (継手挿入済: 2m or 3m or 5m×2本)

デザインラックアダ

※写真はET325AD-SET(L)です

e-パイプタケノコ式ラックアダキット

品番	品名	備考
ET325AD-SET(L)	e-パイプタケノコ式ラックアダキット L	※1
ET325AD-SET(S)	e-パイプタケノコ式ラックアダキット S	※1

ラックアダキットセット内容
●耐候性保温材10mm (25m×1巻)
●デザインラックアダe-タケノコ13A複合管式(L or S×1個)
●e-タケノコ部品セット(S)×6個

e-タケノコ13A複合管式(L)

品番	入数	備考
KX41ET13	10個	※1

e-タケノコ13A複合管式(S)

品番	入数	備考
KX42ET13	10個	※1

ユニットバス貫通金具

e-タケノコ×e-タケノコ(L)

品番	入数	備考
UBET13-L	10組	※1

e-タケノコ×e-タケノコ(S)

品番	入数	備考
UBET13-S	10組	※1

1/2オスネジ×e-タケノコ(L)

品番	入数	備考
UBET13-FL	10組	※1

1/2オスネジ×e-タケノコ(S)

品番	入数	備考
UBET13-FS	10組	※1

※1…施工には別売のETHK13(e-パイプタケノコ挿入工具:ハンディー)か、ETK13(e-パイプタケノコ挿入工具:据置)いずれかが必要です。
※2…施工には別売のETHK13(e-パイプタケノコ挿入工具:ハンディー)が必要。

e-プラネット

<呼び径=13A(厚肉)>

配管キット品

e-パイプ配管キット

品番	品名	長さ
EQ302-SET	e-パイプ配管キット2m	2m
EQ303-SET	e-パイプ配管キット3m	3m
EQ305-SET	e-パイプ配管キット5m	5m

配管キットセット内容
●耐候性保温材10mm (25m×1巻)
●袋ナットアダプター×8個 ●継手保温材×8個

e-パイプ配管キット

品番	品名	長さ
EQ325-SET	e-パイプ配管キット25m	25m

配管キットセット内容
●耐候性保温材10mm (25m×1巻)
●袋ナットアダプター×4個 ●継手保温材×4個

継手

メスアダプター

品番	入数
TM13	10組

袋ナットアダプター

品番	入数
TF13	10組

ユニオンエルボ

品番	入数
TY13	10組

デザインラックアダ

※写真はEQ325AD-SET(L)です

e-パイプラックアダキット

品番	品名
EQ325AD-SET(S)	e-パイプラックアダキット S
EQ325AD-SET(L)	e-パイプラックアダキット L

ラックアダキットセット内容
●耐候性保温材10mm (25m×1巻)
●デザインラックアダクイック13A複合管式(L or S×1個)
●袋ナットアダプター×6個 ●継手保温材×6個

クイック13A複合管式(L)

品番	入数
KX41E13	10個

オプション品

e-パイプ13Aタケノコ挿入工具(ハンディー)

品番	入数
ETHK13	1個

挿入工具レバー

品番	入数
ETKL	1個

化粧カバー

品番	サイズ	入数
GT-EL	300×300	10枚
GT-EM	200×200	10枚

e-パイプ13Aタケノコ挿入工具(据置)

品番	入数
ETK13	1個

パイプカッター

品番	入数
VK13	1個

オプション品

13A面取器(厚肉)

品番	入数
EM13	10個

e-プラネット保温カバー

品番	入数
EP-HC	25組

クイック13A複合管式(S)

品番	入数
KX42E13	10個

e-タケノコ 施工手順

注意 下記手順を遵守しない取り扱いが漏水の原因となります。

ハンディー

1. 管の準備

保温材カット時に管にキズがつかないように注意してください。

管はまっすぐにカットしてください。

切断は直角に 段切れ 斜め切れ

①保温材を約120mm以上めくります。
②先端から約120mm間は管がまっすぐになる様、ゆがみ・曲がりを矯正します。

※矯正時に管が偏平してしまった場合は偏平部をカットし、使用しないでください。

③専用バンドを管に入れます。

管 保温材

約90mm 約120mm

2. 挿入工具の準備

①クランプハンドルを回し、ライナーと本体の間にパイプが入るようにライナーを上げてください。
②ハンドルを継手ホルダー側に引き上げた状態で、シャフトを完全に押し出してください。
③アダプターがホルダーにセットされているか確認してください。浮いている場合はネジを緩め、一番下に合わせ再びネジを締めてください。
④タケノコ脱落防止リングが切れていないか、外れていないか確認してください。切れかけたままご使用されますと、リングがタケノコの中に残ってしまう場合がありますのでご注意ください。

ネジ タケノコ脱落防止リング アダプター ホルダー

上げる ライナー シャフト 押す

ハンドル 上げる クランプハンドル 回す

クランプハンドルが、円滑に動かなくなるとう十分なクランプ力を得ることができなくなります。定期的に軸部に潤滑剤を塗布してください。

3. タケノコ、管のセット

●アダプターにタケノコをセットしてください。奥までしっかり差し込んでください。

＜クイック式タケノコの場合＞

アダプター

●バンド取付後タケノコ先端位置まで管を差込み、クランプハンドルを回して手で締めてください。
・管のくらつきがないことを確認してください。

クランプハンドル 回す

4. 挿入

●タケノコが完全に挿入されるまで、ハンドルを繰り返し握ってください。

挿入

※この時パイプが滑って挿入できない場合は、クランプハンドルをさらに回し、しっかりクランプしてください。

●管が曲がったまま挿入を行うとOリング外れ等による漏水の原因となります。必ず管をまっすぐにして取り付けてください。

5. 挿入確認

●タケノコが奥まで挿入された事を確認してください。

赤いラインが見えない (すき間がない) 赤いラインが見える (すき間がある)

①すき間なく挿入されていれば、挿入工具から専用バンドを管の端面まで戻してください。
②保温材を元に戻し、カット部はテープで保護してください。

管 タケノコ 専用バンド 保温材 テープ

据置

1. 準備

保温材カット時に管にキズがつかないように注意してください。

①保温材を約120mm以上めくります。
②施工ハンドルの先端に管の先端を差し込み、先端から約120mm間は管がまっすぐになる様、施工ハンドルゆがみ・曲がりを矯正します。

③施工ハンドルの確認マークに管をあてゆがみ・曲がりがないことを確認してください。

確認マーク 施工ハンドル 管

約120mm

④専用バンドを管に入れます。

管 保温材

約90mm 約120mm

※矯正時に管が偏平してしまった場合は偏平部をカットし、使用しないでください。

2. 挿入工具の準備

①施工ハンドルを挿入レバーに差し込み、レバーを一番上まで上げてください。
②クランプハンドルを回し、クランプ部を開けてください。

クランプが移動する

クランプハンドル

3. 継手、管のセット

●継手と管をすき間なくセットし、クランプハンドルを手で締めてください。

＜クイック式継手の場合＞

クイック式継手 手締め

＜袋ナット継手の場合＞

袋ナット継手 手締め

スペーサー タケノコホルダー

※クイック式継手の場合は、タケノコホルダーを一度外し、スペーサーを抜いてください。

4. クランプの増し締め

●施工ハンドルをクランプハンドルに差し込み、増し締めを行ってください。

施工ハンドル 増し締め 40°

クランプハンドル

目安は手締め後約40°です。
※過度の増し締めは管、工具の機能を損なう恐れがあります。

5. 挿入

●施工ハンドルを挿入レバーに差し込み、継手を管に挿入してください。

挿入レバー 継手 管 施工ハンドル

※管が曲がったまま挿入を行うとOリング外れ等による漏水の原因となります。必ず管をまっすぐにして取り付けてください。

6. 挿入確認

●継手が奥まで挿入された事を確認してください。

赤いラインが見えない (すき間がない) 赤いラインが見える (すき間がある)

●すき間なく挿入されていれば専用バンドを管の端面まで戻してください。
●すき間がある場合はタケノコホルダーを回して伸ばし、再度挿入を行ってください。

管 継手 タケノコホルダー

※タケノコホルダーを伸ばし過ぎて挿入を行いますと過挿入になりますので、伸ばし幅は挿入不足だけにしてください。

e-プラネット 施工手順

注意 下記手順を遵守しない施工は漏水の原因となります。

1. 管を真っ直ぐに

●巻物の場合、管を巻き出して真っ直ぐにしてください。

アルミ複合管

2. 管の切断

●管の真っ直ぐな部分を塩ビカッターを、用いて軸芯に対して直角に切断してください。

塩ビカッター

切断は直角に 段切れ 斜め切れ

3. 管の端面矯正と面取り

●専用の面取器を用いて管の切断面を仕上げてください。

②押しながら回す 目安：5回転程度

面取器

①面取器のコアを根本までねじ込む

※管端の内面の角が丸くつぶれていることを確認してください。

4. 管の挿入

●保護シールを外し、継手に対して管をまっすぐに奥まで一気に挿入してください。

継手 一気に 管

※管を軽く挿入すると継手の途中で少し抵抗がありますので、そこから一気に挿入してください。

5. 挿入確認

●管の端面がツツ部まで挿入されたことを継手の透明部分で確認してください。

ツツ部 管

●奥まで管挿入確認後、保護カバーをゆっくりはがしてください。
※保護カバーは締め込み直前まで取らないでください。

保護カバー

7. 締め込み

●袋ナットとツツ部がかみ合い、すき間がなくなるまで手締めで締め込んでください。

袋ナット ツツ部

すき間がなくなるまで締め込む

8. 施工終了確認

●袋ナットとツツ部のすき間がないことを目視で確認してください。

すき間がある

※e-パイプには、専用継手(e-タケノコ、e-プラネット)をご使用ください。

取り扱い上のご注意

! 気をつけていただく「注意喚起」内容です。

- 結露、凍結の恐れのある場合には、必要に応じて保温の処理を施してください。
- この製品は金属管に比べ、傷・変形がしやすいので取り扱いに注意してください。

! 必ず実行していただく「強制」内容です。

- 管軸に対して直角に切断してください。
- 接続には、専用継手を必ず使用してください。
- 接続の際は、「面取器」「専用継手」などの施工手順書に従い、正しく施工してください。
- 最小曲げ半径はR51です。
- 一度座屈した管は使用できません。

! 行ってはいけない「禁止」内容です。

- 95℃を超える温度を発生する熱源機器への使用はできません。
- 隠ぺい部で管と継手の接続をおこなわないでください。
- パイプ及び継手は、土中及びコンクリート内に埋設しないでください。
- 継手を支点に曲げないでください。

- パイプは薬品などに侵されますので有機溶剤・防錆剤・防蟻剤・殺虫剤・除草剤には接触させないでください。
- 管の近くで溶接作業をしたり、火気を近づけないでください。
- ガムテープ・ビニールテープ・マジックインキには接触させないでください。
- パイプの傷ついた部分は取り除き、絶対に使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所での保管・設置はしないでください。